

七ヶ谷大好きメンバーが笑顔を発信！

「谷人倶楽部」が七里そば試食会を開催

12月10日、以前久保にあった料理店「えぶり亭」の店舗を利用して、七ヶ谷の男女で作る「谷人倶楽部」がそば試食会を行いました。

「谷人倶楽部」は、七ヶ谷が大好きで、ずっと七ヶ谷で生きていきたい、笑顔あふれる地域になって欲しいと願う男女10人で結成されました。

今回の企画は、惜しまれながら閉店した地元の料理店「えぶり亭」が大好きで、もう一度再開して欲しいと願う思いが募り、1日限定で行われました。

そばは、地元七ヶ谷で収穫された蕎麦なので、「七里そば」と名付けました。香りと味わいの優れた常陸秋そばを使用し、谷人倶楽部の職人が心をこめて手打ちをした77食が振る舞われました。

訪れた人たちは、自家製にこだわったうちたてのそばと地元産サツマイモの洋菓子、コーヒールを堪能しながら、笑顔で会話を楽しんでいました。この日訪れた蔵田島の佐藤



チ子さんは、「とてもおいしかった。建物も雰囲気も懐かしかった。またやって欲しい」と次の開催を願っていました。谷人倶楽部の加藤克徳さん（鮎谷）は、「活動のキーワードは笑顔です。今日はたくさん笑顔をいただき勇気づけられました。今後も地域の笑顔のために何ができるかを考え行動していきたいです」と話してくれました。

「東北電力中学生作文コンクール」で優秀賞受賞！

東北電力次世代支援プロジェクトとして、新潟県および東北6県の中学生を対象に作文コンクールが行われました。テーマは「わたしに『ちから』をくれたこと」として募集され、中学校530校から、17,834編の作品が寄せられました。県内では、優秀賞1編、秀賞3編、佳作9編が選ばれ、関川中学校から優秀賞に高橋まきさん（2年・下関）、佳作に高橋葉菜さん（2年・大石）が選ばれました。

12月16日、ホテル日航新潟で表彰式が行われ、関川中学校の2人を含め、県内13人の受賞者に賞状が贈られました。その後、優秀賞を受賞した高橋まきさんが心を込めて朗読を行い、会場は拍手に包まれました。



▲表彰式で優秀作品朗読をする高橋まきさん



平田村長、佐藤副村長の退任式が行われました

平田大六村長と佐藤忠良副村長が任期満了の前日となる12月22日、退任式に臨みました。議場に集まった職員を前に、村政発展のためまい進してきた16年間の振り返り、「行政素人でしたが、村民の理解と職員のみなさんが支えてくれたことに感謝している。これからは、村民のみなさんと一緒に力を合わせて発展できる村にしていきたい」と挨拶されました。

また、佐藤副村長は、「54年9ヶ月、村を思う気持ちは誰にも負けないぞという思いでやってきた。新村長を迎え、皆さんも自信をもって取り組んで、村民を守ってもらいたい。期待しています」と別れの言葉を述べました。

花束の贈呈を受けたお二人は、多くの職員の見送りの拍手に包まれながら、長年勤めた役場庁舎を後にしました。

新たな会員を迎え、 東京上野で村人会総会開催

11月26日、東京上野の「精養軒」で第36回首都圏在住関川村人会（河内廣治会長・埼玉県）総会が盛大に開催されました。総会には、74人の皆さんが参加しました。

総会では、事業報告や決算報告、予算案などを審議。その後行われた交流会では、生活改善研究会のメンバーによる手づくりのシソ巻や漬物、わらびの味噌汁などの郷土料理を味わいながら、久しぶりに会う皆さんとの再会を楽しんでいました。



▲会員のみなさんでミニ大蛇パレード

首都圏在住関川村人会では、現在、会員を募集しています。親戚や同級生、知り合いの中に首都圏及び首都近県にお住まいの方がいましたら、ぜひご紹介ください。村人会を通じて、たくさんの方々と交流を深めたいと考えています。

村人会とは

首都圏にお住まいの村出身者の会。年に2度、東京を会場に、交流を目的とした総会や納涼会を開催。また、村から無料で広報紙を毎月送付します。年会費は3千円。

【申込み・問い合わせ先】

村人会
村事務局（農林観光課内）
☎ 64・1478
首都圏事務局 渡辺勝蔵
☎ 047・157・1050



新潟県で関川村のお米PR!

関川小5年生が学校田のお米を無料配布！

11月24日、関川小学校の5年生が、自分たちが育てたコシヒカリを配布しながら、関川産のお米と村の良さを新潟県でPRしました。児童たちは、大勢の人が行きかう新潟駅の構内で、おいしいお米のひみつや関川村のフォトスポットなどの村の魅力を書いたボードでPR。田植え作業から稲刈りまでを地域の人たちと一緒にを行った学校田のコシヒカリ2合に手書きのメッセージを同封して用意した



50袋は、開始から20分で無くなりました。

燕市吉田の女性は、「自然豊かな所で、丹精込めて作ったのね。必ず感想を伝えるね」と話していました。

五十嵐優斗さん（上関）は、「たくさんの方がいて、話かけるのが大変だった。断られることもあったけど、話を聞いてもらえてうれしかった。外国の人もたくさんいたので、今度は伝えられるようにしたい」と笑顔で話してくれました。

